

## セレックシステムの遠隔操作の取り組み Attempt of Remote Operation of CEREC System



川上伸大 (九州支部)  
Nobuhiro Kawakami (Kyushu Branch)

セレックシステムは、医院の成長に合わせて周辺機材を追加することにより、規模や方向性に見合った様々な修復物が作成できるようになる。しかし、それぞれの機材は高価なものが多いため、導入に踏み切るには慎重になり成長のタイミングを逃す可能性もある。また、チェアサイドでの作業に特化したカートタイプのセレックプライムスキャンはワンマンオペレーションで行うことを前提としており、複数人が同時に取り扱うには工夫が必要となる。例えば院内歯科技工士がいる場合、どのようにしてセレックプライムスキャンを術者と歯科技工士がシームレスに取り扱うかがポイントになる。今回、一般に流通しているコンピューターソフトを利用して、診療室に設置したセレックプライムスキャンを歯科技工士が技工室にいながら操作できるようにした当院での取り組みを紹介する。